**様式　8-1**

**「有機農産物等**　生産行程管理者/Producer　認証審査申請書**」**

**日本オーガニック＆ナチュラルフーズ協会理事長殿**

下記について、認証の検査・調査を申請します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | **申請書記入日** | | |  | | | |
| **●認証事業者に関する届出** | | | **申請書記入者** | | |  | | | |
| **認証を受ける者の名称** | |  | | | | | |  | |
| **所在地** | | 〒 | | | | | | | |
| **代表者名** | |  | | **正会員/準会員の別** | | | | | |
| 正会員 | | | | | |
| 準会員　→ | 正会員名 | |  | | |
| **申請窓口担当者氏名** | |  | | **窓口担当者電話** | |  | | | |
| **窓口担当者FAX** | |  | | **窓口担当者e-mail** | |  | | | |
| **認証プログラムの別と農林物資（該当する箇所に✓を入れてください）** | | | | | | | | | |
| JAS | 有機農産物　　有機飼料（有機農産物飼料） | | | | | | | | |
| IFOAM | 有機農産物　　有機飼料（有機農産物飼料） | | | | | | | | |
| JONA独自 | 有機農産物　　有機飼料（有機農産物飼料） | | | | | | | | |
| EU | 有機農産物　　有機飼料（有機農産物飼料）  ➡茶を取扱い、下記に該当するときのみチェックすること。  荒茶加工行程があるが、荒茶加工以降の加工行程を行なわない（荒茶加工工程をHandler (Processing)として申請）。 | | | | | | | | |
| COR | 有機農産物　　有機飼料（有機農産物飼料）  ➡米国とカナダの同等性に基づき米国向け輸出を希望する事業者はチェックしてください  ➡茶を取扱い、下記に該当するときのみチェックすること。  荒茶加工行程があるが、荒茶加工以降の加工行程を行なわない（荒茶加工工程をHandler (Processing)として申請）。 | | | | | | | | |
| スイス | 有機農産物　　有機飼料（有機農産物飼料）  ➡茶を取扱い、下記に該当するときのみチェックすること。  荒茶加工行程があるが、荒茶加工以降の加工行程を行なわない（荒茶加工工程をHandler (Processing)として申請）。 | | | | | | | | |
| **新規／年次調査／変更追加のみの申請** | | | | | | | | | |
| 新規申請　　➡　 有機食品認証契約書の提出確認（提出済みの場合チェック） | | | | | | | | | |
| 年次（継続）調査  ➡申請内容に変更追加がないか再確認して下記の該当する方にチェックを入れてください。検査時に追加変更の申請は受付できません。事前申請が必要です。  今回の申請で変更・追加がない。  今回の申請で変更・追加がある。変更追加内容を下記、変更追加の欄に記入して下さい。  ※認証変更追加事項の例：圃場、施設(育苗、収穫後施設等)、担当者、規程、資材（農薬、肥料・土壌改良資材・防除資材等、その資材の説明資料含む）、機械・器具、表示など。  　　　　➡　グループ認証におけるサンプリング調査を希望する。  　　　　　※JASの継続申請のみが対象です。  　　　　　※農家を構成員とする団体など生産者グループで認証(継続)を申請する場合に限ります。  　　　　　※組織内で1回以上内部管理調査を実施した実績が必要です。  　　　　　※詳細はJONAHP（<https://www.jona-japan.org/group-kensa/>）を確認するか、事務局にお問合せ下さい。  　　　　➡　リモート調査を希望する。  　　　　　※追加圃場、追加施設等は対象外です。  　　　　　※JONAによる事業者リスク評価の結果リスクが低いと判断された場合限ります。また3年又は3回連続のリモート調査は不可とします。  　　　　　※詳細はJONAHP（<https://www.jona-japan.org/remote_oshirase/> ）を確認するか、事務局にお問合せ下さい。 | | | | | | | | | |
| 変更・追加のみ申請　※変更追加の内容を下欄に記載。    ➡　リモート調査を希望する。  　　　　　※追加圃場、追加施設等は対象外です。  　　　　　※JONAによる事業者リスク評価の結果リスクが低いと判断された場合限ります。また3年又は3回連続のリモート調査は不可とします。  　　　　　※詳細はJONAHP（<https://www.jona-japan.org/remote_oshirase/> ）を確認するか、事務局にお問合せ下さい。 | | | | | | | | | |
| **変更・追加の内容**  ※具体的な内容および既に確認済みの行程と同じ行程であれば確認済み行程の内容も記入して下さい。  ※変更追加にともなう変更文書（申告書、規程やマニュアル、図面など）を一緒に提出して下さい。修正箇所を文字の色を変える等、**特定**しやすいようにして頂くと審査をスムーズに進めることができますので、ご協力ください。 | | | | | | | | | **作業開始**  **予定時期** |
| ① | | | | | | | | |  |
| ② | | | | | | | | |  |
| ③ | | | | | | | | |  |
|  | | | | | | | | |  |

|  |
| --- |
| **●事務局使用欄** |
| **受付** | 受付日／担当者  申請料金確認状況 |
| **受理** | 受理日／担当者 |

有機農産物等の生産行程管理者/Producer　申告書

この申告書の該当する項目に漏れなく記入してください。記入欄が足りない場合は、行を増やしてご対応ください。該当しない項目は削除せず、そのままにしておいてください。

**１．申請品目**

**(1-1)有機JAS格付生産物**（申請圃場で栽培又は採取場で採取し有機JAS格付する全ての農産物、農産物飼料の品目）

➡申請圃場で栽培又は採取場で採取し格付しない農産物や緑肥等については本申請書７の種苗に必要事項を記載して下さい。

➡外国格付表示とは、米国・カナダ・EUの有機認証ロゴマークを指します。

\*この項目は、有機JAS認証申請者のみ記入してください。下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 品目  ＊一括表示に記載している品名 | 同等性輸出の有無（ある場合のみチェック） | 左記でありとした場合、外国格付表示の有無 |
|  | 同等性輸出します | 外国格付表示あり　外国格付表示無し |
|  | 同等性輸出します | 外国格付表示あり　外国格付表示無し |
|  | 同等性輸出します | 外国格付表示あり　外国格付表示無し |
|  | 同等性輸出します | 外国格付表示あり　外国格付表示無し |
|  | 同等性輸出します | 外国格付表示あり　外国格付表示無し |

外国格付表示を行う場合、外国格付表示業者の認証が必要です。様式　8-6 (他の有機JAS認証と同時に申請する者用)外国格付表示業者の申請書にて申請して下さい。

**(1-2)JONA認証申請圃場生産物**（申請圃場で栽培又は採取場で採取する全ての農産物、農産物飼料の品目）

\*この項目は、JONA認証申請者のみ記入してください。下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 品名  ＊一括表示に記載している品名 | 栽培農産物／採取物の別 | 種類の別  （有機農産物／有機農産物飼料） | 認証プログラムの別  (独自/IFOAM) |
|  | 栽培農産物  採取物 | 有機農産物  有機農産物飼料 | JONA独自  JONAIFOAM |
|  | 栽培農産物  採取物 | 有機農産物  有機農産物飼料 | JONA独自  JONAIFOAM |

**(1-3)COR/EU申請圃場生産物**（申請圃場で栽培又は採取場で採取する全ての農産物、農産物飼料の品目）

\*この項目は、COR/EU/スイス認証申請者のみ記入してください。下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 品名  ＊一括表示に記載している品名 | 栽培農産物／採取物の別 | 種類の別  （有機農産物／有機農産物飼料） | 認証プログラムの別  (COR/EU/スイス) |
|  | 栽培農産物  採取物 | 有機農産物  有機農産物飼料 | COR  EU スイス |
|  | 栽培農産物  採取物 | 有機農産物  有機農産物飼料 | COR  EU スイス |

**(1-4) 申請対象外生産物**(申請しない圃場で栽培する農産物、農産物飼料の品目)

　（例：有機申請圃場では有機大根、有機人参のみを栽培する場合、同一生産者が管理する非有機圃場で栽培する品目について記入してください。例：一般大根、一般人参、一般サツマイモ、一般小松菜等）

|  |
| --- |
|  |

**2.年間生産計画**

**(2-1)有機生産物の年間栽培計画（栽培暦・施肥計画）を記入して下さい。**

※別紙にて提出でも構いません。

|  |
| --- |
|  |

**(2-2)生産物の年間生産量について、以下の表に記載して下さい。**

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、同様の様式で、別紙にて提出して下さい。

※生産者ごとに作成したデータでの提出も受け付けます。

※有機JAS認証とIFOAM/COR/EU等複数の認証を同時に申請する場合は、総計で記載してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目 | 有機 | | 有機転換期間中 | | 有機(転換期間中含む)  と同一品目の生産物 | |
| 昨年実績 | 本年計画 | 昨年実績 | 本年計画 | 昨年実績 | 本年計画 |
|  | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg |
|  | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg |
|  | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg |
|  | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg |
|  | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg |
|  | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg |
|  | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg |
|  | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg | Kg |

**3．認証対象品目の生産行程のフローチャートについて**

* 申請圃場で生産する品目に関して、その種苗／資材等の入手先から農産物の生産(育苗含む)、収穫、輸送、選別、調製、洗浄、貯蔵、包装その他の収穫以後の工程、販売先までの一連の物流フローチャートを作成して下さい。

➡（ポイント）大まかな流れがわかる物流フローチャートと、使用機械や作業（特に収穫後の作業や小分け作業）の手順などをまとめた作業工程表を分けて作成しても構いません。

* 行程の一部を外注（委託）する場合は外注先も記入して下さい。（本申告書６参照）
* 別紙にて作成のうえ、提出いただいても構いません。

|  |
| --- |
|  |

**●物流・商流フローチャート**

* この項目は、JAS格付して同等性で海外に輸出される商品、COR認証申請対象品について記入してください。
* 最終商品の販売まで一連の物流・商流のフローを作成してください。商品によって物流/商流が異なる場合は、それぞれ記載してください。
* 別紙にて作成の上、ご提出いただいても構いません。

|  |
| --- |
|  |

**4．生産行程の管理・格付に関する組織**

**(4-1) 生産組織の形態**

生産組織の形態について、該当するものを選択してください。

①個人または家族のみの生産組織

②生産者を構成員とする生産者グループ

③生産者または生産者グループと契約し、その生産を管理している販売者

④会社法人

**(4-2)生産組織の管理形態**

　管理・申請形態について、該当するものを選択してください。

①有機農産物（飼料）の生産行程はすべて申請者が単独で管理する。

**→**個人生産者・1法人が単独ですべての施設やすべての工程を管理している。

②有機農産物（飼料）の生産行程の一部を他者に委託（外注）する。

→生産行程の一部を自ら管理するとともに、それ以外の生産行程の管理を他の者に委託(外注)して生産行程の管理を行う方法。

（例：育苗・菌床製造・収穫・調整作業・保管など）

※認証の有無にかかわらず行程の一部を委託(外注)することが可能です。

※ただし有機JASマークの貼付（格付）は委託（外注）できません。

③有機農産物（飼料）の生産行程をすべてグループ全体で管理する。

→農家を構成員とする団体や複数の組織・施設(委託(外注)事業者含む)が一体的に生産行程を管理している。一体的認証(グループ認証)はこちら。

**(4-3) 生産行程の管理または把握に関する計画の立案及び推進**

内部規程を策定し、推進する際の責任者名を以下に記載して下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| 責任者名 |  |

　　　内部規程の最終更新日

|  |  |
| --- | --- |
| 更新日 |  |

**(4-4) 生産行程に生じた異常等に関する処置又は指導**

生産行程に起こった異常事態の伝達方法、指示者、処置方法について、該当するものを選択し、それぞれ必要な事項を記載して下さい。

①処置方法、対策を文書化している。

|  |  |
| --- | --- |
| 文書のタイトル |  |

②処置方法、対策を文書化していない。

具体的な異常事態の処理・指導方法を以下に記載して下さい。

|  |
| --- |
|  |

**(4-5) 生産行程の管理・格付に関する管理担当者一覧**

担当者について以下の表に記載して下さい。

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、同様の様式で、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | 担当区分　＊注  （生産行程管理責任者/生産行程管理担当者/格付責任者/格付担当者） | 所属部署名 | 農業/生産  指導/調査/  試験研究  経験年数 | 農業経験3年を満たして  いない場合、  出身校、学部・学科を明記 | JONA又は  ＪＡＳ協会  の講習会受講日 |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 年 |  |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 年 |  |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 年 |  |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 年 |  |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 年 |  |  |

＊生産行程管理責任者―認証の技術的基準で定める経験年数を有し、講習会を受講した方1名。

＊生産行程管理担当者―認証の技術的基準で定める経験年数を有した方。選任しなくても、複数名でも可。

＊格付担当者―認証の技術的基準で定める経験年数を有し、講習会を受講した方。複数名でも可。

＊格付責任者―資格要件は格付担当者と同じ。格付担当者が複数置かれている場合には、格付担当者の中から格付責任者として１人選任されていること。格付担当者が1名のみの場合、格付責任者を選任する必要はない。

＊個人農家の場合のみ、生産行程管理責任者、格付担当者の兼任可能。

**(4-6) グループ認証におけるサンプリング抽出検査を希望する場合は以下を記入して下さい。**

１．内部確認者の氏名と役職と講習会修了日とその方が確認する圃場および施設（別紙作成でも可）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | 役職（無しでも可） | 講習会修了日 | 確認対象圃場・施設 |
|  | 生産行程管理責任者 | 同上 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

２．内部確認の手順や不適合検出時の対応情報をまとめた文書名や条項番号を記入してください。

|  |
| --- |
|  |

３．直近の内部確認調査結果および不適合があった場合、不適合の対応文書等を提出して下さい。

　申請書類に添付した。

**5. 圃場・農場内作業施設**

**(5-1) 有機管理する圃場・栽培場一覧**

申請者が有機管理するすべての圃場を以下の表に記載して下さい。

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、同様の様式で、別紙にて提出して下さい。

※有機JAS認証とJONA/COR/EU認証等を同時に申請し、申請圃場が異なる場合は、別に表を作成してください。

※新規申請、追加申請する圃場は、過去３年間の栽培暦を記録した資料（日報・メモ・ノートなど）を添付して下さい。また慣行栽培からの有機転換の場合、慣行栽培の収穫後～有機的管理の開始作業の記録があれば提出して下さい。

※開拓ほ場又は耕作の目的に供されてなかったほ場で過去2年以上禁止資材が使用されていなく、新たに農産物の生産を開始した場合は、根拠となる文書類を添付して下さい。また下記の管理区分欄は、開拓等圃場を選択して下さい。

※特別な汚染対策（隣接地から一定の距離を保つ緩衝地帯を設置、緩衝水田、防風ネット、溝切など・・）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 圃場番号/圃場の通称などグループの場合生産者名も記入 | 面積  (a) | 管理区分 | 所在地  ＊都道府県名から番地まで記入 | 特別な汚染対策の有無 | 新規／追加／変更／継続の別 | 今年の  栽培品目 |
| ＊新規,追加の場合、有機的管理の開始年月日 | 予定収穫量(Kg) |
|  |  | 有機　有機転換期間中  有機栽培開始1年未満  開拓等圃場  栽培場（きのこ・スプラウト） |  | 有  　無 | 新規　追加  変更　継続  有機開始日       年       月     日 |  |
| Kg |
|  |  | 有機　有機転換期間中  有機栽培開始1年未満  開拓等圃場  栽培場（きのこ・スプラウト） |  | 有  　無 | 新規　追加  変更　継続  有機開始日       年       月     日 |  |
| Kg |
|  |  | 有機　有機転換期間中  有機栽培開始1年未満  開拓等圃場  栽培場（きのこ・スプラウト） |  | 有  　無 | 新規　追加  変更　継続  有機開始日       年       月     日 |  |
| Kg |
|  |  | 有機　有機転換期間中  有機栽培開始1年未満  開拓等圃場  栽培場（きのこ・スプラウト） |  | 有  　無 | 新規　追加  変更　継続  有機開始日       年       月     日 |  |
| Kg |
|  |  | 有機　有機転換期間中  有機栽培開始1年未満  開拓等圃場  栽培場（きのこ・スプラウト） |  | 有  　無 | 新規　追加  変更　継続  有機開始日       年       月     日 |  |
| Kg |
|  |  | 有機　有機転換期間中  有機栽培開始1年未満  開拓等圃場  栽培場（きのこ・スプラウト） |  | 有  　無 | 新規　追加  変更　継続  有機開始日       年       月     日 |  |
| Kg |

**(5-2) 有機で使用する農場内作業施設一覧**

申請者が有機業務で使用する収穫、輸送、選別、調製、洗浄、貯蔵、包装その他の収穫以後の工程を行う農場内作業施設を、以下の表に記載して下さい。きのこ類の場合、玉切り、培地調製、殺菌、放冷、接種、浸水の作業場所。

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、同様の様式で、別紙にて提出して下さい。

※有機JAS認証とJONA/COR/EU認証を同時に申請し、作業施設が異なる場合は、別に表を作成してください。

※他者の施設を借りて自ら管理・作業する場合、施設の管理者は「申請者」を選択して下さい。他者に施設の管理や作業を委託（外注）する場合は、「外注」を選択して下さい。委託（外注）管理の規程・マニュアル・記録・契約書・覚書・施設図面を提出して下さい。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設名称 | 面積  （㎡） | 所在地  ＊都道府県名から番地まで記入 | 作業内容 | 施設の管理者 |
|  |  |  |  | 申請者  外注 |
|  |  |  |  | 申請者  外注 |
|  |  |  |  | 申請者  外注 |
|  |  |  |  | 申請者  外注 |

**(5-3)非有機圃場・栽培場について**

申請者が管理する非有機圃場・非有機栽培場（申請外）の有無。

・非有機圃場／栽培場（申請外圃場）は　無い　

・非有機圃場／栽培場（申請外圃場）が　ある　

　→ある場合は、圃場数・面積が確認できる一覧（自由書式）を提出して下さい。

**(5-4) 育苗管理**

育苗方法について、該当するものを選択し、それぞれ必要な事項を記載して下さい。

①育苗を行わない。

②申請圃場で、育苗を行う。申請圃場の番号または名称を以下に記載してください。

|  |
| --- |
|  |

③申請圃場以外の以下の施設で、育苗を行う。

※有機JAS認証とJONA/COR/EU認証等を同時に申請し、育苗施設が異なる場合は、別に表を作成してください。

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、同様の様式で、別紙にて提出して下さい。

※委託（外注）管理の場合は、規程・マニュアル・記録・契約書・覚書・施設図面を提出して下さい。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設名称 | 育苗する品種 | 面積  （a） | 所在地  ＊都道府県名から番地まで記入 | グループで申請する場合生産者名 | 管理者 |
|  |  |  |  |  | 申請者  外注 |
|  |  |  |  |  | 申請者  外注 |
|  |  |  |  |  | 申請者  外注 |
|  |  |  |  |  | 申請者  外注 |
|  |  |  |  |  | 申請者  外注 |

**(5-5) 育苗用の資材一覧**

育苗時に使用する資材を、以下に記載してください。

※チェーンポット、セルトレー、育苗マット等の農業用資材、育苗用培養土、覆土、種子塩選用の食塩、種子消毒用食酢等が該当します。

※チェーンポットなど土壌中で分解することを目的とした紙製品は、使用できない可能性が高いので注意が必要です。

※外部調達する育苗用培養土や覆土は、「肥料及び土壌改良資材 申請書」を作成し説明資料と共に提出して下さい。その他の資材については、説明資料の提出を求める場合があります。種子塩選用の食塩も「肥料及び土壌改良資材 申請書」を用いて申請して下さい。

※種子消毒でJAS規格別表2の農薬を使用する場合は、「農薬 申請書」を作成し、説明資料を添付し提出して下さい。

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、同様の様式で、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 育苗する品種 | 使用する農業用資材名  育苗用培養土名・覆土名・種子消毒剤 | グループで申請する場合使用する生産者名 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**7-1．種子または苗等**

**申請圃場で使用する種子・苗・種菌の一覧表（種子・苗の品種ごとに記載）を作成して下さい。**

※申請圃場に播種するすべての種子（種芋含む）、植え付けするすべての苗について①～④の該当する欄に記入して下さい。**また、出荷しない自家用生産物や緑肥も含めて下さい。スプラウト栽培で使用する種子**についても下記にて申告して下さい。

※種子のうち、外部から調達する場合はそれぞれについて説明資料を提出して下さい。

※自ら育苗する場合は、種子等の情報のみ記入して下さい。

※苗は、外部から調達する場合に記入し、それぞれについて説明資料を提出して下さい。

※シーダーテープを使用する場合は、説明資料を提出して下さい。使用可能な材質はコットンリンター由来のみなので注意が必要です。

※果樹や茶など永年性作物の場合、今後1年以内に植え付ける予定がある苗の情報を記入して下さい。

※原則使用する全ての種子・苗・種菌の情報を記入しますが、他品種少量生産を行っている組織の場合は、当該年度の主要作物（全体の3分の2程度を目安）を記入して下さい。

※COR基準の場合、種子の処理に使用する資材は、許可資材のみに限定されます。

※JONA-IFOAM基準の場合、使用禁止資材で消毒された種子、苗等（栄養繁殖する品種にあっては入手可能な最も若齢な苗を含む）は使用できません。

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、同様の様式で、別紙にて提出して下さい。

**①有機管理に由来する種子または苗等**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目  （品種） | 入手時の状態  （種子／苗／その他） | 入手先  （自家採取／購入／譲渡／その他） | 種子等の処理内容  （無処理／塩水選別／温湯消毒／その他） | シーダーテープ利用の有無 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 無処理  塩水選別  温湯消毒  その他 | 有  無 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 無処理  塩水選別  温湯消毒  その他 | 有  無 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 無処理  塩水選別  温湯消毒  その他 | 有  無 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 無処理  塩水選別  温湯消毒  その他 | 有  無 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 無処理  塩水選別  温湯消毒  その他 | 有  無 |

**②使用禁止資材が使用されていない種子または苗等**

※有機管理に由来する種子・苗等の入手が困難な場合に、用いることができます。

※使用禁止資材が使用されていない種苗とは、種子の場合は採種した後に使用禁止資材で種子消毒やコーティング処理を行っていないもの、苗の場合は育苗の段階で使用禁止資材を使用していないものです。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目  （品種） | 入手時の状態  （種子／苗／その他） | 入手先  （自家採取／購入／譲渡／その他） | 遺伝子組換えの  有無 | シーダーテープ利用の有無 | 有機管理に由来する種子・苗等が  入手困難な理由 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 | 有  無 | ①当該品種の有機種苗等を探したが見つからなかった。  ②当該品種の有機種苗等はあるが、高価なため経済的理由により断念した。  ③その他 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 | 有  無 | ①当該品種の有機種苗等を探したが見つからなかった。  ②当該品種の有機種苗等はあるが、高価なため経済的理由により断念した。  ③その他 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 | 有  無 | ①当該品種の有機種苗等を探したが見つからなかった。  ②当該品種の有機種苗等はあるが、高価なため経済的理由により断念した。  ③その他 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 | 有  無 | ①当該品種の有機種苗等を探したが見つからなかった。  ②当該品種の有機種苗等はあるが、高価なため経済的理由により断念した。  ③その他 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 | 有  無 | ①当該品種の有機種苗等を探したが見つからなかった。  ②当該品種の有機種苗等はあるが、高価なため経済的理由により断念した。  ③その他 |

**②-2（IFOAM認証事業者のみ）**

**上記種苗について有機転換計画を策定して提出して下さい。**

**（計画文書名：**     　　　　　　　）　　**③使用禁止資材を使用し生産された種子または苗等**

※有機管理に由来する種子・苗等に加え、使用禁止資材が使用されていない種子または苗等の入手も困難な場合に、用いることができます。

※この場合、種子繁殖する品種は一般の種子、栄養繁殖する品種は入手可能な最も若齢の一般苗等を用いることができますが、播種又は植付け後に圃場で持続的効果を示す化学的に合成された肥料および農薬が使用されたものは用いることができません。

※JONA-IFOAM/COR認証では使用禁止資材を使用し生産された種子、1年生作物苗を用いることはできません。

**※苗の場合、育苗記録も提出して下さい。（使用した農薬・肥料名と使用時期が確認できるもの）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目  （品種） | 入手時の  状態  （種子／苗／その他） | 入手先  （自家採取／購入／譲渡／その他） | 遺伝子組換えの有無 | 使用禁止資材による  処理内容 | シーダーテープ利用の有無 | 有機管理に由来する種子・苗に加え、使用禁止資材不使用の種子・苗も入手困難な理由 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 | 農薬による種子消毒  使用禁止資材による  種子コーティング  使用禁止資材を使用  した育苗用土  その他 | 有  無 | ①当該品種の使用禁止資材不使用の種苗等を探したが、見つからなかった。  ②当該品種の使用禁止資材不使用の種子はあるが、現在の生産規模を維持するための作業効率上の理由により断念した。  ③その他 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 | 農薬による種子消毒  使用禁止資材による  種子コーティング  使用禁止資材を使用  した育苗用土  その他 | 有  無 | ①当該品種の使用禁止資材不使用の種苗等を探したが、見つからなかった。  ②当該品種の使用禁止資材不使用の種子はあるが、現在の生産規模を維持するための作業効率上の理由により断念した。  ③その他 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 | 農薬による種子消毒  使用禁止資材による  種子コーティング  使用禁止資材を使用  した育苗用土  その他 | 有  無 | ①当該品種の使用禁止資材不使用の種苗等を探したが、見つからなかった。  ②当該品種の使用禁止資材不使用の種子はあるが、現在の生産規模を維持するための作業効率上の理由により断念した。  ③その他 |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 | 農薬による種子消毒  使用禁止資材による  種子コーティング  使用禁止資材を使用  した育苗用土  その他 | 有  無 | ①当該品種の使用禁止資材不使用の種苗等を探したが、見つからなかった。  ②当該品種の使用禁止資材不使用の種子はあるが、現在の生産規模を維持するための作業効率上の理由により断念した。  ③その他 |

**③-2（IFOAM認証事業者のみ）**

**上記種苗について有機転換計画を策定して提出して下さい。**

**（計画文書名：**     　　　　　　　）　　**④その他の種子、苗等**

※上記①～③の記入欄に該当しない種子、苗等がある場合に記入して下さい。

※JAS規格の経過措置に該当する種子・苗等(ナス科及びウリ科の果菜類、こんにゃくいも)はこの欄に記入して下さい。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目  （品種） | 入手時の状態  （種子／苗／  その他） | 入手先  （自家採取／購入／譲渡／その他） | 遺伝子組換えの有無 | 当該種子、苗等の由来・処理に関する情報（自由書式） |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 |  |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 |  |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 |  |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 |  |
|  | 種子（裸種子）  種子（コート種子）  苗  その他 | 自家採取  購入  譲渡  その他 | 有  無 |  |

**④-2（IFOAM認証事業者のみ）**

**上記種苗について有機転換計画を策定して提出して下さい。**

**（計画文書名：**     　　　　　　　）　　

**7-2．きのこ類の栽培で使用する種菌・木材・菌床原料**

**①種菌について**

※いずれの菌も組換えDNA技術が用いられていないことを確認し、確認の際の資料を提出ください。

　※成型駒は下記欄の「種菌の状態」については、その他を選択してください。

　※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、同様の様式で、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目  （品種） | 栽培方法 | 種菌の状態 | 入手先  （自家／購入／譲渡／その他） | 種菌の培養資材を記載して下さい。別表３の資材を使用する場合は内容が確認できる資料を添付して下さい。 |
|  | 原木  菌床  堆肥 | 駒菌  オガ菌  その他 | 自家  購入  譲渡  その他 |  |
|  | 原木  菌床  堆肥 | 駒菌  オガ菌  その他 | 自家  購入  譲渡  その他 |  |

**②生産資材（樹木由来資材・その他菌床原料・堆肥栽培の肥料）について**

※樹木由来の資材が過去 3 年以上、使用禁止資材に汚染されていない一定 の区域で伐採され、伐採後に化学物質により処理されていないこと

　※その他菌床原料は有機由来であることの確認が必要。ただし米ぬか、フスマは有機由来が入手困難な場合は一般由来で化学物質により処理されていないものも可。

　※堆肥栽培に使用する肥料および土壌改良資材については、別紙「肥料及び土壌改良資材　申請書」を作成し、説明資料を添付し提出して下さい。

　※オガ菌でスチロール栓、封ろう等を使用する場合は下記欄にて申告して下さい。

　※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、同様の様式で、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 生産資材名  （原木／おがこ／チップ／菌床原料/別表資材等） | 入手先  （自家／購入／譲渡／その他） | 基準に適合することを確認した資料名（資料を添付して下さい） |
|  | 自家  購入  譲渡  その他 |  |
|  | 自家  購入  譲渡  その他 |  |

**8.肥培管理について**

**(8-1) 土作り**

**圃場や周辺の資源を利用した土作りについて、該当するものを選択してください。その他を選択した場合は、内容を記載して下さい。**

　①組織的に肥料又は土壌改良資材を製造・生産し、土作りを行っている。

　②生産者ごとに肥料又は土壌改良資材を製造・生産し、土作りを行っている。

　③地域・近隣組織が製造・生産した肥料又は土壌改良資材を利用し、土作りを行っている。

　④輪作（輪作体系の内容

　　　　EU・CORは必須。ただし多年生の作物・水田での稲作は除外。CORは輪作に代わる地力の維持増進方法でも可

　⑤緑肥（使用種子については、本申告書「7-1．種子または苗等」に記載）

　⑥休耕

　⑦その他の取り組みを行っている。（

　⑧実践していない。その理由を以下から選択して下さい。

→ 　a)人手不足などの人的理由により実践できない。

　b)経済的理由により実践できない。

　c)技術的理由により実践できない。

　d)その他の理由により実践できない。（

**(8-2) 肥培管理用資材の外部調達**

**肥料／土壌改良資材等を外部調達する場合の管理について、該当するものを選択してください。その他を選択した場合は、内容を記載して下さい。**

　①組織で一括管理する。

　②使用資材リストは組織で作成し、入手及び保管等の管理は個々の生産者で管理する。

　③その他の方法で管理する。（

**(8-3) 肥培管理資材一覧**

**申請圃場で使用する肥料／土壌改良資材について該当するものに✓を入れてください。**

　①投入する肥料／土壌改良資材はない。　　

　②肥料／土壌改良資材を申請圃場に投入する。　

　　　➡別紙「肥料及び土壌改良資材　申請書」を作成し、説明資料を添付し提出して下さい。

※自家製堆肥も記入して下さい。（自家製堆肥の原材料が複数ある場合は分けて申請する必要はありません。自家製堆肥１資材として申請して下さい。また自家製堆肥の製造方法がわかる資料を提出して下さい）

※外部から導入する微生物もここに記入して下さい。

**9.有害動植物の防除について**

**(9-1) 耕種的防除、物理的防除、生物的防除の取り組みについて、****該当するものを選択してください。その他を選択した場合は、内容を記載して下さい。複数チェック可。**

**【耕種的防除について】**

作目及び品種の選定（地域気候に適した作目・品種の利用　　抵抗性品種の栽培　　抵抗性台木の利用）

作付け時期の調整　　　混植　　　輪作　　田畑転作　　　耕起・中耕

被覆作物の利用　　　　その他(

**【物理的防除について】**

光・熱・音の利用

古紙に由来するマルチの利用（使用する場合、説明資料の提出が必要）

プラスチックマルチの利用（使用後に取り除くものに限る）

人力・機械の利用　　　その他(

**【生物的防除について】**

有害動植物が忌避する植物や有害動植物の発生を抑制する植物の利用

周辺の天敵の利用

**(9-2) 農薬一覧**

**申請圃場で使用する可能性のある農薬について該当するものに✓を入れてください。**

　①申請圃場で使用する可能性のある農薬はない。　　

　②申請圃場で使用する可能性のある農薬がある。　　

　➡別紙「農薬 申請書」を作成し、提出して下さい。

**10.一般管理**

**土壌や植物に施される可能性がある以下の資材について、該当するものを選択してください。その他を選択した場合は、内容を記載して下さい。**

※使用後に取り除く可能性がある資材でも、効果を示す化学合成農薬成分等の使用禁止資材が含まれていないことが前提です。使用している場合は、その資材の説明資料の提出や使用方法に関する報告を求める場合があります。

防虫ネット

防風ネット

寒冷紗

接ぎ木用テープ・クリップ

果樹用袋

受粉用資材（石松子など）

光分解性プラスチックの誘引テープ（多くの光分解性プラスチックは、使用禁止資材に該当するので鋤込むことはできません。）

生分解性プラスチックマルチ（多くの生分解性プラスチックマルチは、使用禁止資材に該当するので鋤込むことはできません。）

虫除けスプレーや香取線香など人の保健のための防除用医薬部外品（使用する場合、農産物への汚染混入を防止する取組みを行うことが必要です。例：虫除けスプレーは圃場に入る前に使用する。）

　➡使用するためのルールを内部規程または別紙に定めてください。

その他、土壌や植物に施される可能性のある資材(

**11．機械・器具**

**(11-1) 生産に使用する機械の管理方法について、該当するものを選択してください。**

グループで共有／一括管理。

生産者ごとに個別で管理。

**(11-2) 機械・器具一覧**

**使用する機械（圃場で使用するもの、作業施設で使用するもの、小分け作業で使用するものを含む）の一覧表を作成して下さい。**

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、同様の様式で、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機械・器具の名称 | 有機専用／慣行との  共用の別 | 使用目的 | 洗浄・清掃方法  （複数選択可） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　　エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシのみ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　　エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシのみ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　　エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシのみ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　　エアダスター　吸引　　ホウキ・ブラシのみ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　　エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシのみ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |

※上記項目を満たしていれば、自社書式の一覧でも構いません。

　※生産グループで申請する場合は機械器具名に使用生産者の名前を記入して下さい。

　※共洗い（押出し）の場合、押し出し量を決定した根拠を示して下さい。

　 ※有機品が直接触れる設備等の掃除や消毒にエタノール製剤を使用する場合、揮発又はふき取り後に有機品の取り扱いが可能です。使用するエタノール製剤は食品（添加物）グレードのものが使用可能です。別紙「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請をしてください。

　　※洗剤は使用可能です（ただし残留しないよう水で洗い流す必要があります）。洗剤の資料は提出する必要はありません。

**12．収穫後作業(選別、調製、洗浄、貯蔵、包装、出荷等)**

**(12-1) 生産物の選別、調製、洗浄について、該当するものを選択してください。**

①グループで共同／一括作業

②生産者ごとに個別で作業

③特定の専門事業者に作業を委託

**(12-2) 生産物の保管・貯蔵について、該当するものを選択してください。**

①グループで共同／一括保管・貯蔵

②生産者ごとに個別で貯蔵・保管

③特定の専門事業者に貯蔵を委託

**(12-3) 生産物の包装について、該当するものを選択してください。**

①グループで共同／一括作業、同一包装

②生産者ごとに個別で包装

③特定の専門事業者に包装を委託

**(12-4) 生産物の出荷について、該当するものを選択してください。**

①グループで共同／一括出荷

②生産者ごとに個別で出荷

③特定の専門事業者に出荷を委託

**(12-5) 収穫後作業施設等で、薬剤を用いない有害動植物防除の取組みについて、リストを作成して下さい。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 該当する対策に✓ | 方法 | 機材や製品名 |
|  | 光・熱・音・電撃の利用 |  |
|  | 物理的トラップ（粘着シート等） | ※誘引剤を使用する場合は誘引剤の内容がわかる資料を提出して下さい。誘引剤の使用がない場合は下に誘引剤無しと記入して下さい。 |
|  | 殺虫剤成分を含まない界面活性剤など | ※殺虫剤成分を含む製品は**(12-6)** 「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請して下さい。 |
|  | その他（　     ） |  |

※粘着トラップ等に使用する誘引剤は、食品または食品添加物グレードのもので殺虫・殺鼠成分が含まれないものが使用可能です。殺虫・殺鼠成分を含むものは下の(12-6) 「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請して下さい。

※ハーブ由来等の忌避剤は下の(12-6) 「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請して下さい。

※モニタリング等で使用するフォロモントラップや一緒に使用する誘引成分は下の(12-6) 「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請して下さい。

**(12-6) 収穫後作業施設等で使用する薬剤一覧**

**収穫後作業施設等で有害動植物防除のために薬剤を使用する場合、薬剤のリストを作成して下さい。**

　①収穫後作業施設等（外注施設含む）で使用する可能性のある防除薬剤はない。　　

　②収穫後作業施設等（外注施設含む）で使用する可能性のある防除薬剤がある。　　

　➡別紙「有害動植物防除用薬剤 申請書」を作成し、提出して下さい。

**(12-7) 調製用等資材一覧**

**農産物の品質の保持改善の目的で、別表5の調製用等資材を使用する場合、調製用等資材のリストを作成して下さい。**

　①農産物の品質の保持改善の目的で調整用等資材は使用しない。　　　　　

　②農産物の品質の保持改善の目的で別表５の調整用等資材を使用する。　　

　　　　　➡別紙「調整用等資材　申請書」を作成し、提出して下さい。

**13．生産物のロット管理**

**生産物のロット番号の付け方について、該当するものを選択してください。**

①集荷場でグループ共通のロット番号を付けている。

②生産者が個別にロット番号を付けている。

**14．生産行程管理者が実施する小分け作業について（JAS事業者のみ）**

　　　※小分け作業＝既に格付（JASマーク貼付）された農産物を受け入れて、マークを貼付し直す業務。従来農産物の小分け業者の認証を個別に取得する必要があった作業。

　①有機農産物の小分け作業は実施しない。　　　　　

　②有機農産物の小分けを実施する。　　　　　　　　

　　　　　➡内容を下記に記入して下さい。

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、同様の様式で、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目  （品名） | 小分け目的  (精米、最終小売り製品用の包装、製造業者用へ原料供給するための形態変更包装等) | 小分け原料の  入庫形態  （紙袋・箱、アルミパック、フレコン、バルク等具体的に記載） | 有機原料を  格付している  事業者名 | 小分け原料の  有機JASマーク  貼付場所  （現物/伝票） | 入荷頻度  (1週間/  1ヶ月当り) | 小分け製品の  出荷形態  （業務用半製品/  最終小売り製品） |
|  |  |  |  |  |  | 業務用半製品  最終小売製品 |
|  |  |  |  |  |  | 業務用半製品  最終小売製品 |
|  |  |  |  |  |  | 業務用半製品  最終小売製品 |

**15．環境への配慮**

**(15-1) ポリマルチを使用する場合、不要となったポリマルチの処分方法を以下に述べて下さい。**

|  |
| --- |
|  |

**(15-2) 農薬(慣行圃場使用農薬も含む)を使用する場合、不要となった農薬の処分方法を以下に述べて下さい。**

|  |
| --- |
|  |

**(15-3) 余剰作物（不適合品も含む）が発生した場合、その処理方法を以下に述べて下さい。**

|  |
| --- |
|  |

**(15-4) その他、環境配慮として行っていることがあれば以下に述べて下さい。**

|  |
| --- |
|  |

**16．生産行程の管理記録の保持**

**生産行程の管理又は把握に関する記録及び当該記録の根拠となる書類名称及び管理方法について、以下の表に記載して下さい。**※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、同様の様式で、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 記録名称 | 保持者／作成者 | 記録保持期間 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**17．格付の実施**

**(17-1) 格付規程の最終更新日**

|  |  |
| --- | --- |
| 更新日 |  |

**(17-2) 格付の実施場所、頻度、担当者数について、以下の表に記載して下さい。**

※この項目は、有機JAS認証申請者のみ記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 格付を行う施設名称 | 格付の頻度  (該当項目のローマ字) | 格付担当者の人数 |
|  |  | 人 |
|  |  | 人 |
|  |  | 人 |
|  |  | 人 |
|  |  | 人 |

＊「格付の実施場所」欄には、格付を実施する施設等の名称を記入してください。

＊「格付の頻度」の欄には、以下の該当項目のローマ字を記入してください。複数該当する場合はそれぞれ明記。

A：収穫期が年間で分散しており収穫の都度格付実施（例；葉物類）

B：収穫期が集中しており収穫期間中に集中して格付実施（例；荒茶、果菜・根菜類）

C：収穫期が集中しているが調整後に分散して格付実施（例；米、大豆等穀類）

＊「格付担当者の人数」の欄には、「格付の実施場所」ごとの格付担当者（責任者）の人数を記入してください。

**(17-3) 有機JASマークの貼付場所について、****該当するものを選択してください。**

※この項目は、有機JAS認証申請者のみ記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 本申告書(1-1)の品目又は商品名  （一枠にまとめて記載OK） | 有機JAS格付表示（有機JASマーク貼付）はどこに表示しますか？  （複数選択可） | 外国格付表示をする場合どこに表示しますか？  （複数選択可） |
|  | 個別商品（農産物・ポリ袋・ネットなど）  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） | 個別商品  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） |
|  | 個別商品（農産物・ポリ袋・ネットなど）  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） | 個別商品  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） |
|  | 個別商品（農産物・ポリ袋・ネットなど）  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） | 個別商品  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） |

※外国格付表示を行う場合、外国格付表示業者の認証が必要です。様式　8-6 (他の有機JAS認証と同時に申請する者用)外国格付表示業者の申請書にて申請して下さい。また、有機JAS格付表示（有機JASマーク貼付）が必須となります。

**(17-4)** **JONA認証マーク、カナダロゴ、EU有機ロゴの貼付場所について、該当するものを選択してください。**

※この項目は、JONA認証、カナダ、EU認証申請者のみ記入してください。

①容器・包材（紙袋、ポリ袋、段ボール等の袋や箱のこと）のみに貼付

②容器・包材と送り状に貼付

③送り状のみに貼付

④その他：(

**18．包装容器等の資材**

**生産物に使用する包装容器等の資材について、該当するものを選択してください。**

段ボール

ポリフィルム

紙

プラスチックケース

その他　　素材名：(

**19．同等性を利用した有機JAS認証品の輸出の輸出に必要な証明書**

※この項目は、輸出する（予定のある）有機JAS認証申請者のみ記入してください。

**輸出者が自社・他社にかかわらず、同等性を利用して、米国、EU、スイス、カナダ、台湾、英国に有機JAS食品を輸出する場合に添付が必要な証明書の申請手順について、以下に記載してください。**

|  |
| --- |
|  |

●通信事項

**■新規申請者は別紙様式10-1　宣誓事項及び必須添付書類リストも提出して下さい。**

**■有機栽培に取り組んだきっかけ・理由をご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

**■過去3年間に他の認証機関に有機認証の申請をした場合、認証機関名、申請時期、審査の結果をご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

**■上記の審査結果が、不適合/否決の場合、認証機関から発行された不適合/否決についての通知文書を添付してください。更に、不適合事項への申請者の改善内容を説明し、その根拠書類を添付してください。**

|  |
| --- |
|  |

**■以下は、EU認証申請者のみ記入してください。**

1. **JONA以外に他の認証機関等の組織から認証を受けている場合、JONAが該当する組織と認証に関する情報を交換することを承認しますか？**

イ．はい

ロ．いいえ（不明点：

1. **認証機関を変更する場合に、移行先の認証機関にJONAが認証に関する情報を提供することを承認しますか？**

イ．はい

ロ．いいえ（不明点：

1. **EU認証を取り下げる場合、速やかにJONAに報告することに同意しますか？**

イ．はい

ロ．いいえ（不明点：

1. **EU認証を取り下げる場合、EU認証に関する記録類を取り下げ後5年以上保管することに同意しますか？**

イ．はい

ロ．いいえ（不明点：

1. **自らの有機製品あるいは外部から受け入れた有機製品について有機性に関わる不正や違反があった場合、速やかにJONAに報告することに同意しますか？**

イ．はい

ロ．いいえ（不明点：

**日本オーガニック＆ナチュラルフーズ協会　理事長宛**

**以上の申告内容に虚偽はありません。**

|  |  |
| --- | --- |
| 生産行程管理責任者　氏名: |  |
| 格付責任者または格付担当者　氏名: |  |
| 記入者　氏名: |  |